

幼稚園保護者の皆さまへ

2019年4月吉日
学校法人いづな学園事務局

2018年度 学校評価のまとめ

～ こどもの森幼稚園 ～

1. 本年度の学校評価への取り組み

いづな学園では、学校を運営する上での課題を明確にし、次年度の重点目標を設定するために、以下のとおり学校評価に取り組んでいます。

学校評価の流れ

2018年12月	保護者アンケートの実施
2019年 2月	保護者アンケートを受けての自己評価
2019年 3月	保護者に保護者アンケート結果を報告 評価者に保護者アンケート・内部評価を公表、外部関係者評価実施 評価方法:保護者・自己評価を受けての意見聞き取り及びアンケート調査
2019年3月	理事会及び評議員会で内部評価及び外部関係者評価結果を報告
2019年 4月	保護者会で外部関係者評価の説明

2. 自己評価の結果について

保護者アンケートについては、項目の大半が、A評価(評価できる)というを頂いた。

保護者とのコミュニケーションを大切にすることは継続するが、子どもとも話し合いを重ねることも大切にしてほしい。一方的な話を行うのではなく、「話し合いを重ねてお互い乗り合いを深めること」が重要と考える。同時に、本園の一番の特色である自然環境を活かした幼稚園活動を、より充実するように努める。

3. 外部関係者評価の結果について

今年度の評価者は、幼稚園教育活動に協力して頂いた方又は有識者から1名以上とした。

そのため、ご自身の教育研究で本園を度々来園される日本女子大学の先生方に

評価を依頼した。両氏ともに、保護者アンケートと内部評価を反映した評価となっている。

活動報告を行い、アンケート形式で評価して頂き、自然とファンタジーの融合した幼児教育について評価して頂いた。

4. 来年度への課題

関係者評価及び昨年度までの評価結果を勘案すると、以下の課題が見える。

- 1 地域とのつながりの薄さ
- 2 保護者・園児との関係構築に対する教職員の対話力と包容力の向上

5. 来年度の重点事項

来年度の教育活動における重点項目は、話し合いと学び合いに重点を置き、

「子どもと親と先生がおt外に対話し認め合い、柔軟に学び育ち合う教育(共育)」とする。

2018年度 こどもの森幼稚園評価シート

2018年度こどもの森幼稚園の学校評価は以下のとおりとなりました。

A:評価できる B:やや評価できる C:やや評価できない D:評価できない

※ 評価段階 : A > B > C > D

項目		評価			
		保護者	自己	関係者	
教育活動について	1	子ども達は、幼稚園を楽しみにしていると評価できる。	A	A	A
	2	保護者は週のお便りやHP等で、園や子どもの様子がわかっていると評価できる。	B+	B	A
	3	保護者は参観・懇談会やさまざまな行事などで、子どもの様子や育ちがよく理解できていると評価できる。	B+	B+	A
	4	先生は、子どものことについての相談事に適切に対応していると評価できる。	B+	B	B+
教育方針等について	5	保護者および教員は幼稚園の教育方針を知っていると評価できる。 「いのちを慈しみ いのちを育む」～自然の恵み・手づくりの愛情～	B	B	A
	6	幼稚園は、様々な自然体験を通して、自然と人の絆を育め合える保育を提供していると評価できる。	A	A	A
	7	幼稚園は、本年度「大人も子どもも話し合っって考えて育ち合う」ことができた」と評価できる。	B-	B	B+
保育について	8	先生は、保護者とコミュニケーションを積極的に取りながら保育を行っている」と評価できる。	B	B	B+
	9	子ども達は、元気良く活動していると評価できる。	A	A	A
	10	幼稚園は、年齢別活動と年齢混合活動を取り入れて、子どもたちに思いやりの心を育てようとしている」と評価できる。	B+	B+	A
	11	子どもは、幼稚園の絵本などの読み聞かせを楽しみにしていると評価できる。	A	B-	A
	12	先生は、子どもを理解し、子どもの性格や長所を把握して指導にあたっていると評価できる。	B+	B	A
	13	先生たちは協力して教育活動にあたっていると評価できる。	B	B	A
外部評価者の意見	<p>1年に数度お伺いする中で感じているところから評価させていただきました。自然を生かした活動と、「のはらうた」やオペレッタを用いたファンタジーの世界が程よく融合し、魅力的な保育実践になっていると思います。 その先のこととして少しコメントしておきます。他の幼稚園などを見せてもらう中で、地域の農家さんを巻き込んで行うコメ作りや、子ども達が発見したことを地元の専門家に話を聴きに行ったり、またその地域にあるお祭りや行事の再生に幼稚園が役を買っているなどというのを聞いたことがあります。そういった保育もその地ならではの面白さを感じています。こどもの森幼稚園さんが、自然を生かした保育に加え、あの飯綱高原の地域の人々や文化とうまくつながっていくと更に面白い保育になっていくのではないのでしょうか。多くの人にこどもの森幼稚園のすばらしさを理解してもらえると嬉しいと思います。これからの保育にも期待しています。今後ともよろしくお願いいたします。</p>				
	<p>毎回、子どもたちの生き生きとした様子に驚かされます。お助けペアも気のしており、縦割り、横割りの両方の活動が充実していると言えるのではないのでしょうか。こどもの対話が早く感じます。HPを拝見しておりますが、子ども達の活動が手に取るように伝わってきます。情報発信、共有もなされていると評価できます。 保護者と先生方の関りについては、行事を拝見した時以外見る機会はないのですが、ポータルフォリオでのやりとりを観る限りでは大変きめ細かく行われていると思います。 先生方の連携も日々ブラッシュアップされているように感じております。「見合う保育」を心掛けることでお一人おひとりが更に専門性を高めていかれるのではないのでしょうか。</p>				
来年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・この数年継続している対話力を中心とした重点目標を更に発展させる ・来年度以降、少し時間のかかる課題ではあるが、地域を巻き込んだ又は地域と共に生きる幼児教育を取り入れていく 				
来年度の教育活動における重点項目					
「子どもと先生と親がお互いに対話し認め合い 柔軟に学び育ち合う教育(共育)」					